第8回ネットフォーラム

一思春期における支援の実際と課題ー

主催:東京学芸大学・東京学芸大学附属特別支援学校ネットフォーラム推進委員会

共催:東京学芸大学<子どもの問題>支援システムプロジェクト

後援:東久留米市

事務局代表:東京学芸大学附属特別支援学校長 大伴 潔

障がいのある人を支援する様々な関係者が共に生涯発達支援の視点を持ちながら研修し、情報交換を行う場としてのネットフォーラム。今年度は小学校高学年から中学校段階の「思春期における支援の実際と課題」をテーマに据えました。この時期には心と体の変化に伴う「対人関係のルール」や「生と性」の学びという課題があり、また障害の有無に関わらず思春期特有の心のケアや家庭環境の課題が折り重なった場合の多職種協働による支援の必要性など、それまでとは異なる課題が少なからず浮上してきます。そこで、今回のネットフォーラムでは多様な職種の方にご協力頂きつつ、思春期に関する学びを深める契機としたいと考えました。

- 日時:平成24年8月9日(木)13:30~17:30(受付:12:30~)
- 会場:東京学芸大学附属特別支援学校東久留米市氷川台1-6-1 西武池袋線 東久留米駅北口より所沢方面へ徒歩7分
- 対象:特別支援教育に関心のある方、通常学級教諭・特別支援学級教諭・特別支援学校教諭、児童福祉関係者、スクールカウンセラー、スクールソーシャル ワーカー、学生、保護者他、子どもの問題に関心をもたれる方々
- 定員:80名(先着順)
- 参加費:500円
- 申し込み期間:平成24年6月11日(月)~8月6日(月)
- 申し込み方法:ファックスまたはメールで申し込み願います。
 - ファックスでお申し込みいただく場合ネットフォーラム申込書に必要事項をご記入の上、下記申し込み先までお送りください。メールでお申し込みいただく場合「氏名(ふりがな)、住所・電話番号・勤務先・職種・連絡先(平日昼間連絡可能な連絡先)」を記入の上、下記メールアドレスまで送信願います。
- 申し込み・問い合わせ
- 〒203-0004 東京都東久留米市氷川台1-6-1 東京学芸大学附属特別支援学校
- TEL: 042-471-5274 FAX: 042-471-5275 E-mail: netforum@u-gakugei.ac.jp

担当:田口 悦津子

くプログラム>

13:30~14:20:基調講演

<思春期における生と性の学び~なぜ、性教育は必要なのか~>

講師:山本 良典氏(日本障害児性教育研究会会長)

*成人の知的障害当事者やその支援者・保護者に対する「対人関係と性」学習ワークショップを 展開されてきた山本氏から、その実践をベースに性教育の大切さについて、基本的な考え方を 整理していただきます。 14:30~15:15 研究報告

「障害児性教育ガイドブックとオリジナル・イラスト集」の開発

報告:蓮香 美園氏(東京学芸大学附属特別支援学校中学部教諭)

加瀬 進氏(東京学芸大学特別支援科学講座教授)

*東京学芸大学トップマネジメント経費の助成を受け、平成22/23年度2ヵ年をかけて開発してきた標記ガイドブックとオリジナル・イラスト集。これは本学附属特別支援学校中・高等部における実践をベースに整理・検討した中軽度の知的障害児向けの指導案とワークシートですが通常学級における活用がどこまで、どのように可能かを探る端緒になればと考えております。

15:30~17:00 シンポジウム

<思春期における支援の実際と課題~通常学級を中心に~>

くシンポジスト>

- 〇黒川 綱子氏(東久留米市スクールソーシャルワーカー)
- 〇早川 惠子氏(跡見学園中学校高等学校スクールカウンセラー)
- 〇原田智恵子氏(立川市立大山小学校養護教諭)
- 〇伊東久美子氏(東京学芸大学附属特別支援学校高等部教諭)

司会:安永啓司氏(東京学芸大学附属特別支援学校相談部教諭)

*このシンポジウムでは通常学級における思春期支援に焦点をあて、発達障害や多様な疾患等による特別な支援の必要性とその実際や課題、あるいは「ノーマル」といわれる児童・生徒における思春期ゆえの特別な支援の必要性や課題、さらに経済的貧困や複雑な家庭環境から生じる課題を負わされている児童・生徒の実態と望まれる支援体制等について学び会う機会づくりになれば、と企画しました。さまざまなお立場の方の参加をお待ちしております。

切りとり

ネットフォーラム申込書

*申込書1枚につき1名様でご記入をお願いします(ご記入いただいた情報はネットフォーラム以外の目的には使用しません)

(ふりがな)	
氏 名	
住 所	〒 —
電話	TEL FAX
勤務先	職種
連絡先(平日昼間	
連絡可能な)	